

寺報

No.681

令和6年5月

蓮華寺
發行

御聖訓

夫れ老狐は塚をあとにせず、白
 龜は毛寶が恩を報ず。畜生すらか
 くのごとし。況や人倫おや。

『報恩鈔』



(解説)

「キツネという動物は決して故郷を忘れる事をせず、老いて死ぬ時は、必ず頭を元住んでいた方に向けるという。また中国の晋の時代の軍人『毛寶』に子供の時助けられた白い亀は、『毛寶』が戦いに破れ川に身を投じた時、自分の背に乗せて向こう岸に渡り、その恩を報じたといわれる。」

畜生類といわれるものでさえも、この通りなのだから、まして人間の身である我々が恩というものを、絶対忘れてはいけないのです。」

日蓮大聖人は報恩という事を強く唱えられました。しかし、残念な事に現代人の多くは恩を忘れ、何事も自己中心に考え、自らの欲の為には他人を裏切りまた恨むなどといった事が頻繁に起きています。

その結果、日常茶飯事のように殺人事件などが起きているのです。

もし、総ての人が法華経・お題目を唱え、人に物に社会に報恩感謝し、今生きている事の喜びを感じる事が出来たなら、この世は浄土となるのでしょう。

五月十三日(月)

午後一時より

於：大本堂

しゃく そん ご こう たん え
釈尊御降誕会
 (花まつり)



白象

- * お釈迦様のお誕生日、甘茶の日です。
- * 皆様で、甘茶をかけお祝いしましょう。
- * お供物も受け付けています。

しもん しゅう ゆう
四門出遊

お釈迦様が悟りを得られる以前の王子様の時代、ご自分が住まれるお城の【東の門】を出ますと、一人のよぼよぼの老人の姿を目にし、人生における老いの悲慘さを認識されました。

次に【南の門】を出ますと、一人のやつれ果てた病人に出会い、そこで病氣のおぞましさと哀れさを自覚されました。

また【西の門】から出ますと、今度は一人の死人を見かけたのでした。

そして、いかなる人間も必ず死すべきものであり、誰も決して逃れられないものだとは自覚されたのです。

最後に【北の門】から出ますと、一人の清い修行者に出会いました。

そこで、その神々しいお姿を拝見し、ここにこそ老・病・死の苦しみから抜け出す道があると、ご自分に生きる自信と信念を見つけ出したのでした。

こうして、人生の基本である〈苦〉に直面し、それは他人事ではなく、自らの問題と考えましたお釈迦様はついに真の悟りの道をめざし歩まれたのでした。

檀信徒研修会のお知らせ

☆五月二十五日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂【イス席です】

持参品…聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張って修行して下さい。

大切なお題目受持

「水子さん」のご供養

当山境内地に、今年も新たに『水子観音様』専用の「風車」をご供養の為に上げ下さい。

一体七〇〇円で、葉の部分に【供養文】が書き入れる事が出来ますので、ご希望の方は事務所までお申し付け下さい。

また、当山では、この世に生を受ける事なく仏様の世界に旅立たれました水子さん、また早くに亡くなられた子供さんのご供養の為に、境内に『観音様』を安置しています。

この『観音様』の台座の中には、施主の名前を書き入れました「法名紙」が奉納出来ます。

「水子」「子供」の戒名や俗名、また「水子一切の霊」などを書き入れてもらい、奉納します。

★本堂で法要を行い焼香をし、「法名紙」を観音像の中に奉納する場合。 【二万円】

★観音像の前で直接ご供養し、「法名紙」を奉納する場合。 【一万円】

詳しくは当山にお問い合わせ下さい。



七面天女

伝承によりますと、身延山のご草庵から少し登った所に大きな石があり、そこで日蓮大聖人がいつものように教えを説いていますと、この辺りでは見かけない年若い美しい女性が毎日熱心に聴聞に来ていました。お弟子や信徒が不審に思うのを感じ取った日蓮大聖人は、その女性に「今こそ皆に本当の正体を見せてやりなさい。」と告げ、身延山の清水が入った花びんを渡しました。

いわれた通り、女性が水を一滴手のひらに落とした時たちまち『龍のお姿』に身を変えました。

その後、身を人間の姿に戻した女性は、「私はこの上の七面山に住む【七面天女】と申します。日蓮大聖人のみ教えに感動し、今から身延山を護る法華経の守護神として、これからお題目を唱える人々に心の安らぎと満足を与え、そして身延山の鬼門（北東）を護りましょう。」とお誓いになりました。

後に、お弟子や信徒が七面山に登詣し、お堂を設け【七面天女】をお祀りになって、現在まで信仰を続けます。

蓮華寺の龍神様

昭和二十年の七月、突如、当山の中庭の池の水があふれ出すという不思議な現象が起きました。

何かの前触れかではないかと思っていた処、その数日後に青森は、いわゆる「大空襲」に見舞われ、市内は一面焼野原となったのでした。

そして当山蓮華寺も、大本堂の屋根に幾つかの焼夷弾が当たり、本堂内にもわずかながら火の手があがるという状態になりました。

そこで、当時蓮華寺にありました、当山第二十七世・角田堯承上人初め何人かで、その延焼を防ぐ為に、このあふれ出た池の水を汲んでは掛け汲んでは掛けて、ついに鎮火させ蓮華寺を火災から救ったのでした。

この奇跡は、当山の『龍神様』の多大なるお力によるものだとして、その後、池には『龍神様』のお堂とお姿をお祀りし、毎年ご法楽をして、今日に至っているのです。

我々にとって不可欠な水、大地を潤す水、しかしある時は容赦なく自然を破壊する水、その水をつかさどる『龍神様』は大切にお祀りしていきましょう。

『角田経一』君

改名届受理される

当山子弟の『経一』君が、去る三月十一日の日に裁判所の許可を得て、戸籍上『角田堯現』と改名されました。

これは、今年八月八日より九月十一日までの三十五日間、身延山で行われる【日蓮宗信行道場】の修行の前に改名しなければならぬという、宗門規定に従い届出されたのでした。

よって、今後は『角田堯現』上人として、日蓮宗僧侶として活動していきま
すので、よろしく願
い致します。



【盛運祈願会】に参拝し

お守りを戴きましよう

毎月ついたち午後一時からの、お守り（俱生靈神符）を戴く行事を「盛運祈願会」といいます。

ついたちの日が仕事や諸用で忙しいとか、またご遠方の方は仕方ありませんが、是非「盛運祈願会」に参拝してお守りを戴いて下さい。

そして、我々はお守りを戴くだけではなく、御寶前に於きましてご本尊様・日蓮大聖人様・諸天善神・俱生靈神様に

「一ヶ月間どうも有り難うございました。また、今月もよろしくお願い致します。」

と、御礼する事が大事なのです。

更に、我々が知らず知らずの間に作って来た罪を、自らが懺悔滅罪し、一心に盛運を祈願して、俱生靈神のご守護をより強くする事も忘れてはいけません。

また、我々の身体はご先祖様より受け継がれたものです。

ですから、皆様ご自身の懺悔滅罪だけではなく、先祖の懺悔滅罪そして成仏を願う事も大事な事です。

五月の行事

一 日(水) 盛運祈願会

午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ 必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱え、感謝の気持ちを込めてお守りを交換しましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(月) 日蓮大聖人のご命日

午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・ どなた様も、大聖人への御報恩を忘れずに参拝しお題目とお経を唱えましょう。

十三日(月) 釈尊降誕会【花まつり】

午後一時より

十九日(日) 龍神様・七面様大祭

午後一時より

二十五日(土) 檀信徒研修会【唱題行】

午後七時より

☆奉仕のお知らせ

十三日(月) 花まつりの準備とお手伝い

- ◎ 教宣部男女・・・午前十一時より
- ※『花まつり』の行事は、大本堂で十三日講のお勤めの中で執り行われています。
- どうぞ、ご参拝かたがたお手伝いをよろしくお願い致します。

十九日(日) 龍神様・七面様大祭の準備とお手伝い

- ◎ 教宣部男女・・・午前十時より
- ※当山客殿に於きまして、祭壇を設けて、行事を執り行いますので、お手伝いをよろしくお願い致します。

教宣部長・杉淵昌三

☆十三日(日蓮大聖人の月命日)の

お勤めには必ず参拝しましょう!

毎月十三日 午後一時より

最高の教え法華経

『位牌壇』の募集!

◎ お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎ 仏様のご命日に旅行などで不在の時や、ご高齢で家庭で追膳が作れない場合でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎ 特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎ 最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎ 現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の方に、上位で空いています『位牌壇』を数がある限り無料でお譲りします。(管理費は変わります)ですから【三席】から【特席】にも上がれます。

◎ 詳細は事務所まで!

『霊断』

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導します。

なお、宗旨宗派は問いません。

必ずご予約下さい。(☎七七六―五八四〇)まで
【一件・・・三千円となります】

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、当山住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『提灯』募集!

当山で『鬼子母神大祭』『御会式』『お正月』に下げます『提灯』(トロー)を募集しています。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度のみ一万円となります。

龍神様・七面様大祭

五月十九日（日）

午後一時より

於：蓮華寺客殿



七面天女



- * 今年は【龍年】ですので是非とも参拝して下さい。
- * 龍神様・七面様の御神体・掛軸ごしんたいの御法楽（二千円）
- * 一般御法楽（千円）、祈願（八百円）
- * お供物も受け付けています。
- * 祈願・御法楽をお申込みの方にお札ふだを差上げます。